

平成 21 年 6 月 1 日

各 位

会社名：株式会社アルチザネットワークス
 代表者名：代表取締役社長 床次 隆志
 （コード番号：6778 東証マザーズ）
 問い合わせ先：管理本部長 清水 政人
 （連絡先：042-529-3494）

業績予想の修正、特別損失の計上並びに 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 3 月 2 日に公表した平成 21 年 7 月期（平成 20 年 8 月 1 日～平成 21 年 7 月 31 日）の業績予想修正及び平成 20 年 9 月 4 日に公表した平成 21 年 7 月期の 1 株当たり配当予想について、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

平成 21 年 7 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 20 年 8 月 1 日～平成 21 年 7 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,400	△220	△188	△90	円 銭 △984.39
今回発表予想 (B)	1,000	△415	△383	△545	△6,026.96
増減額 (B-A)	△400	△195	△195	△455	—
増減率 (%)	△28.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 7 月期)	2,472	526	543	330	3,546.45

2. 業績予想修正の理由

金融危機に端を発した実体経済の悪化が世界的に深刻化する状況で、国内における通信業界の研究開発及び設備投資の環境は、依然として厳しい状況が継続しております。

主力であるモバイルネットワークテストにおける移動体通信分野におきましては、現行世代である第 3 世代移動体通信及び HSPA 方式への研究開発及び設備投資の抑制や、競争激化による製品価格の下落、並びに投資先送りの動きが顕著になってきております。次世代移動体通信方式 LTE (Long Term Evolution) に対応する製品につきましても同様に厳しい状況が継続しており、さらに第 3 四半期以降に計画していた売上高が次期にずれの可能性が高くなったことにより、前回予想の売上高を大幅に下回る見通しとなりました。

上述した減収要因に伴い、営業利益及び経常利益も同様に減少する見込みとなりました。また、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、平成 21 年 3 月 2 日に公表した業績予想値を下回ることとなりました。

3. 特別損失の発生及びその内容

(1) 減損損失

現在の事業環境及び今後の見通しを勘案し、収益性の低下した開発機材等の一部固定資産について減損処理を行い、86百万円の減損損失を特別損失として計上しております。

(2) たな卸資産評価損

製品及び原材料の一部たな卸資産に関して今後の製品価格の動向等を踏まえ収益性を精査し、たな卸資産評価損 58百万円を特別損失として計上しております。

4. 配当予想修正の理由

当社は、株主への利益還元を経営上の重要政策の一つと位置づけ、安定的な利益配分という観点から平成19年7月期末より配当を実施してまいりました。

しかしながら当期の期末配当金につきましては、前述のとおり多額の当期純損失を計上することになるため、将来の事業展開などを総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら1株当たり500円とさせていただきます。

5. 修正の内容

(金額の単位：円)

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (平成20年9月4日発表)	—	0.00	—	700.00	700.00
今回修正予想	—	0.00	—	500.00	500.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成20年7月期)実績	—	0.00	—	700.00	700.00

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により本業績予想数値とは異なる可能性があります。

以上